

邑楽町中学 3 年生アンケート調査報告書

令和 6 年 9 月

= 目次 =

I 調査概要.....	1
1.調査目的.....	2
2.調査内容.....	2
3.集計結果の見方.....	2
II 調査結果.....	3
1.回答者のプロフィール.....	4
2.総合計画の認知について.....	5
3.邑楽町のイメージや住みごちについて.....	5
4.ご自身の将来について.....	9
5.これからの邑楽町のまちづくりについて.....	11

I 調査概要

1.調査目的

本調査は、「邑楽町第七次総合計画」「第3期邑楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「第六次邑楽町行政改革大綱」の3計画を一体化した、本町の最重要計画を策定するにあたり、町の未来を担う中学3年生を対象として、若者世代の意見を確認することを目的に実施したものです。

2.調査内容

- | | |
|--------|----------------------|
| ① 調査対象 | 邑楽中学校、邑楽南中学校の3年生 全生徒 |
| ② 調査方法 | WEB フォーム |
| ③ 調査期間 | 令和6年7月 |
| ④ 回収結果 | 有効回収数 184 票 |

3.集計結果の見方

- 設問の中には前問に答えた人のみが答えるなどの「条件付き限定設問」があり、それらの回答者数は、全体の回答者数より少なくなっています。
- 複数回答（2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。

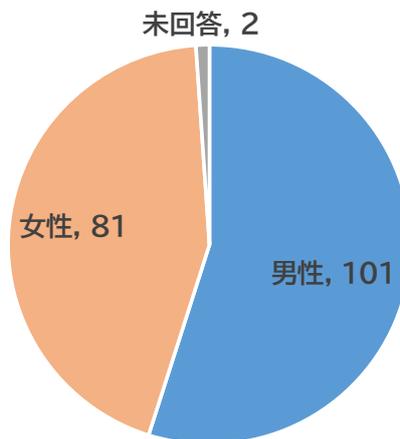
II 調査結果

1.回答者のプロフィール

(1)性別

性別は「男性」が101名（55%）、「女性」が81名（44%）、「未回答」が2名でした。

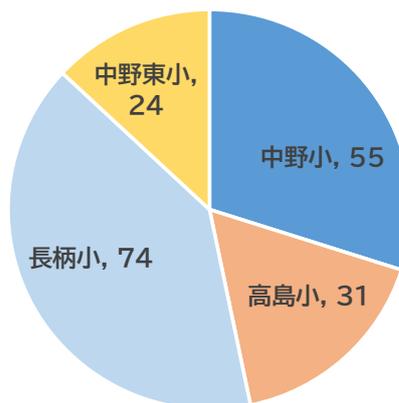
図表 1：性別



(2)居住地

居住地は、「長柄小学校区」が74名（40%）で最も多く、次いで「中野小学校区」が55名（30%）となっています。

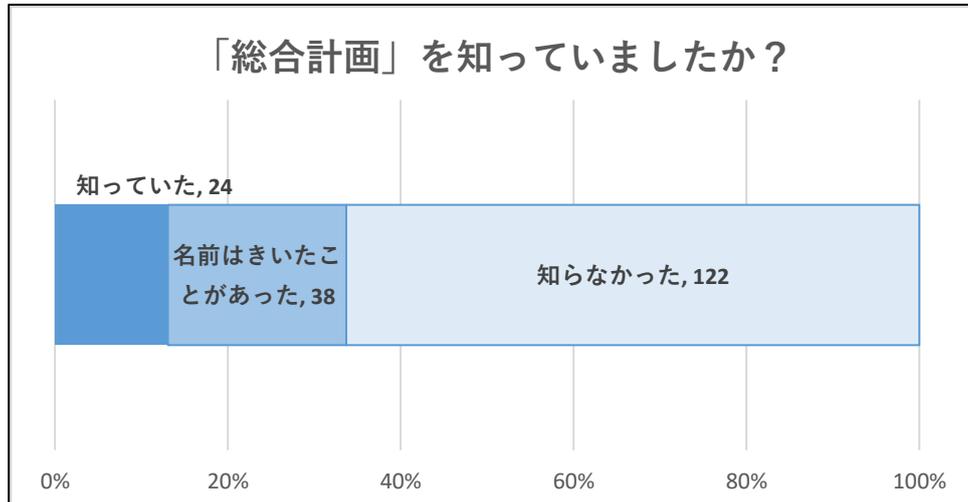
図表 2：居住地（小学校区）



2.総合計画の認知について

総合計画を「知っていた」が24名（13%）、「名前はきいたことがあった」が38名（21%）、「知らなかった」が122名（66%）という結果でした。

図表 3：問2 あなたは、「総合計画」を知っていましたか

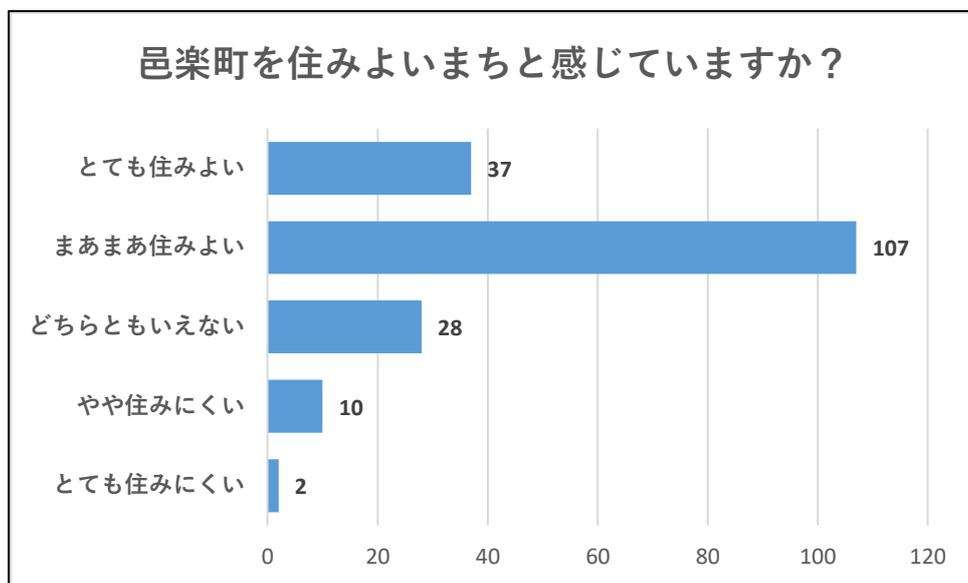


3. 邑楽町のイメージや住みごころについて

(1) 邑楽町の住みやすさ

「とても住みよい」が37名（20%）、「まあまあ住みよい」107名（58%）で、全体の3/4以上が住みよいと感じています。

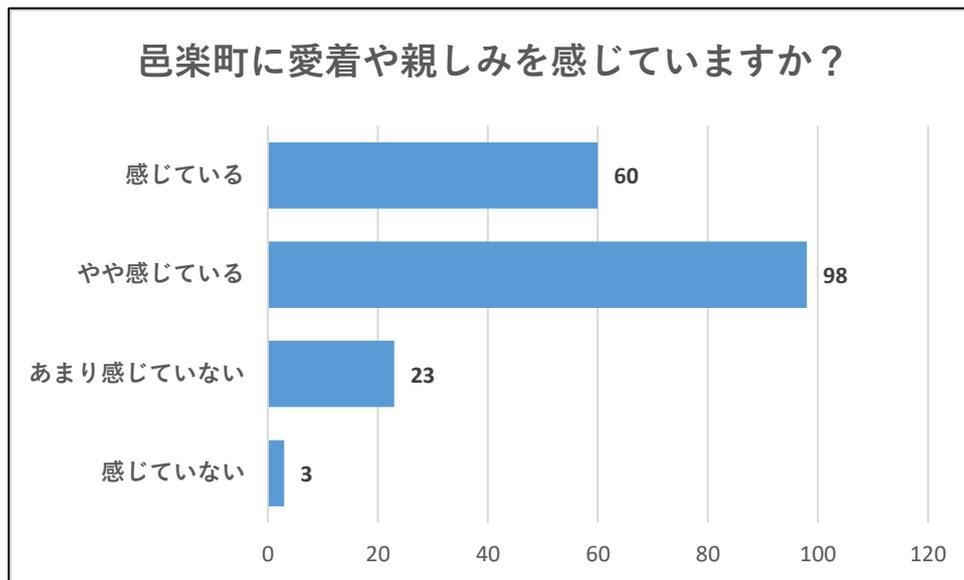
図表 4：問3 あなたは、邑楽町を住みよいまちと感じていますか



(2) 邑楽町への愛着や親しみ

邑楽町への愛着や親しみについては「感じている」が60名(33%)、「やや感じている」が98名(53%)で、合計85%以上の生徒が愛着や親しみを感じていることがわかります。

図表 5：問4 あなたは、邑楽町に愛着や親しみを、どの程度感じていますか

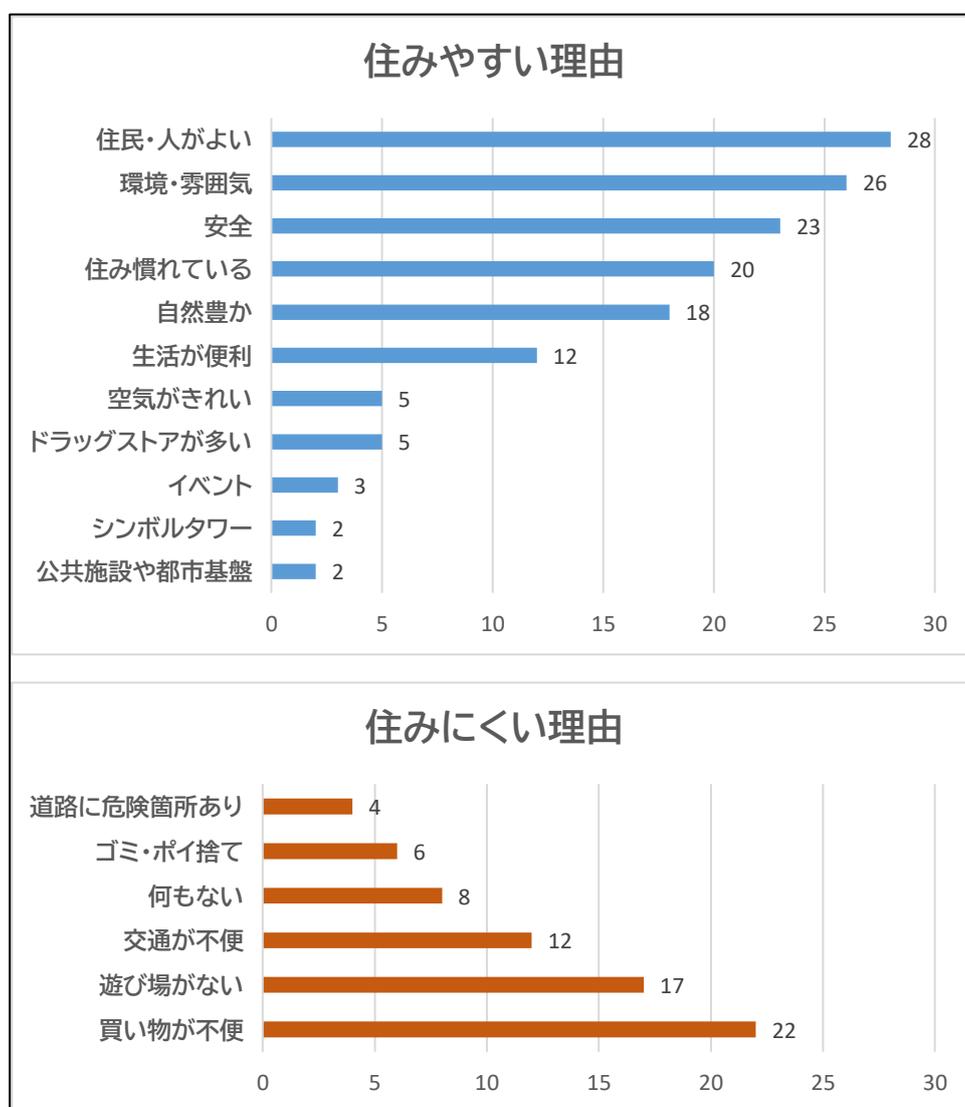


前述の設問に関して、その理由を記述式で回答いただきました。

「住みやすい」「愛着を感じる」理由は、「町の人々がよい（親切、挨拶してくれるなど）」が最も多い結果でした。次いで、「落ち着いた雰囲気」「静か」などの住環境をあげる回答が多く、また、災害がなく「安全」という意見も多くありました。そのほか、「住み慣れている」という意見も多くありました。

一方、「住みにくい」「愛着を感じない」理由は、「買い物が不便」「遊ぶ場所がない」「交通が不便」という意見が上位となりました。また、比較的票数が少ないものの「ゴミ・ポイ捨てが多い」という意見もありました。「道路に危険箇所あり」は、歩道がない道路、見通しのわるい道路、路面の凸凹がある道路などを指摘するものでした。

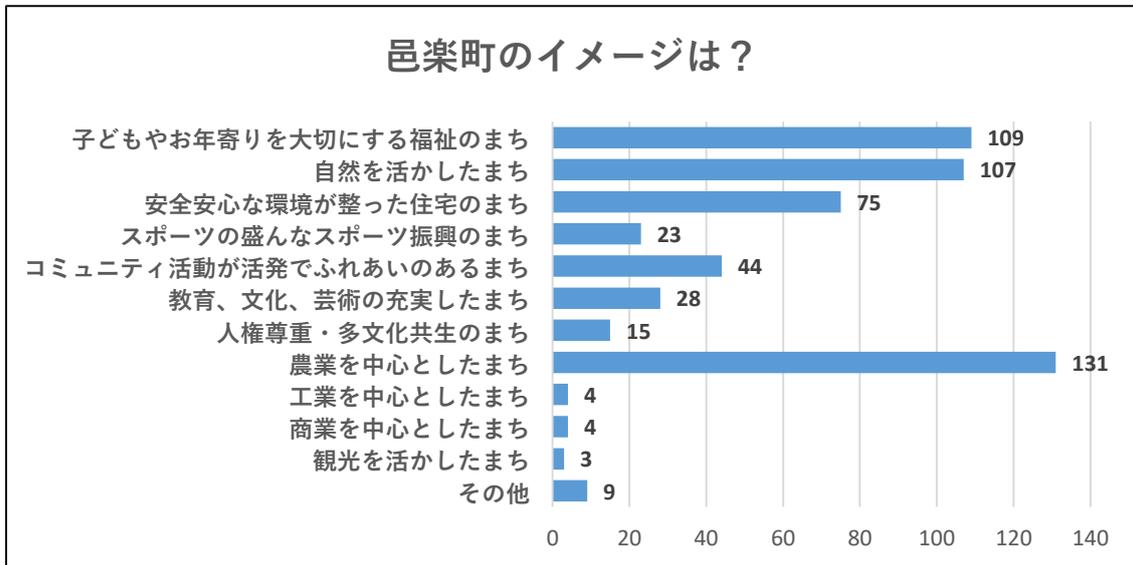
図表 6：問5 問3・4について、選んだ回答の理由を教えてください。（記述式）



(3) 現在の邑楽町のイメージ

「農業を中心としたまち」が131名（71%）で最も高く、次いで「子どもやお年寄りを大切にする福祉のまち」109名（59%）、「自然を活かしたまち」107名（58%）となっています。

図表 7：問6 あなたは、現在の邑楽町のイメージをどのように感じていますか（3つまで）

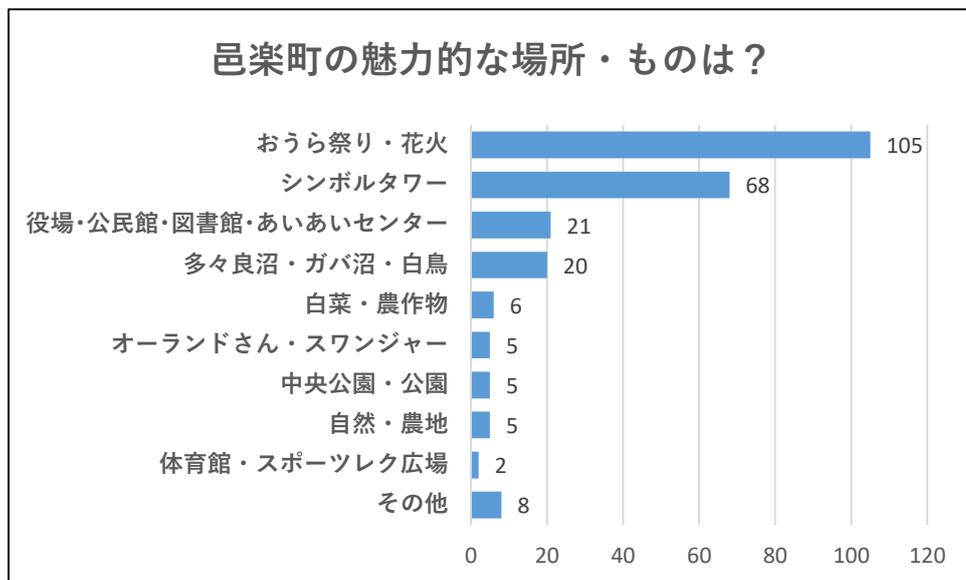


（※ 複数回答のため、合計値は184を超えています）

(4) 邑楽町の魅力的な「場所」や「もの」

町の魅力的な場所・ものを訪ねたところ、「おうら祭り・花火」が最多で、次いでシンボルタワーでした。

図表 8：問7 邑楽町の最も魅力的な「場所」や「もの」は何だと思いますか。



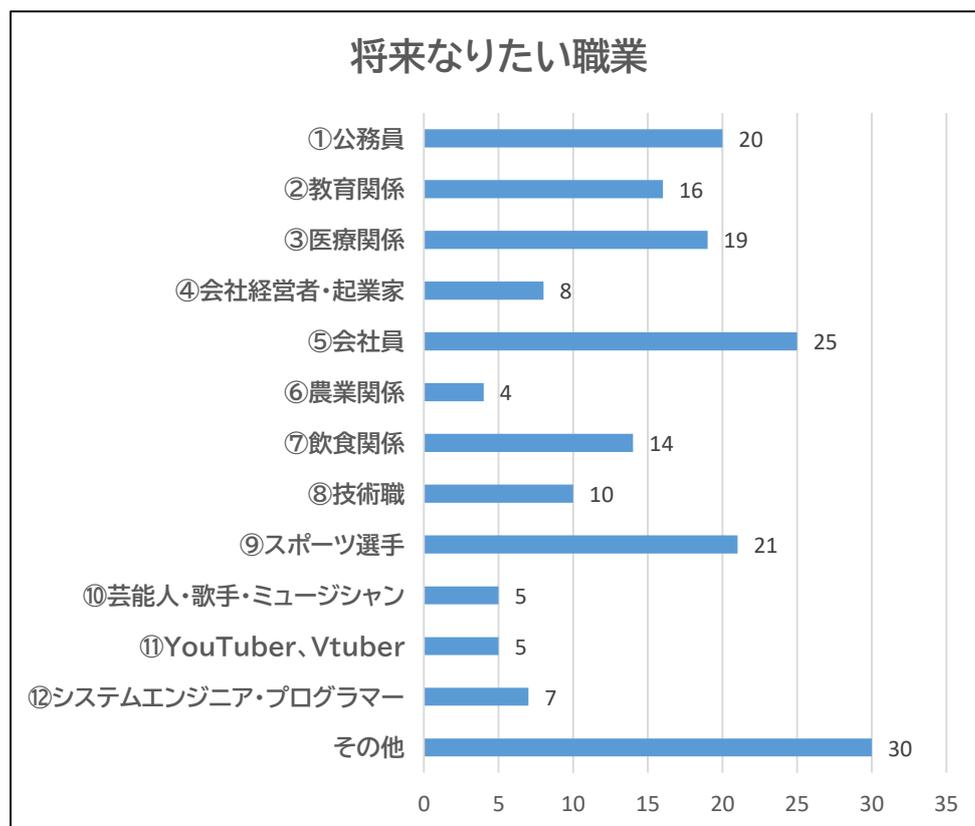
4.ご自身の将来について

(1)将来なりたい職業

中学生に将来なりたい職業をきいたところ、「会社員」「公務員」のほか、「スポーツ選手」「医療関係」「教育関係」が多い結果でした。

「その他」は、「美容関係」「動物関係（トリマー、水族館飼育員など）」「イラスト関係」などのほか、「未定」が10名でした。

図表 9：問8 あなたの将来なりたい職業は何ですか。

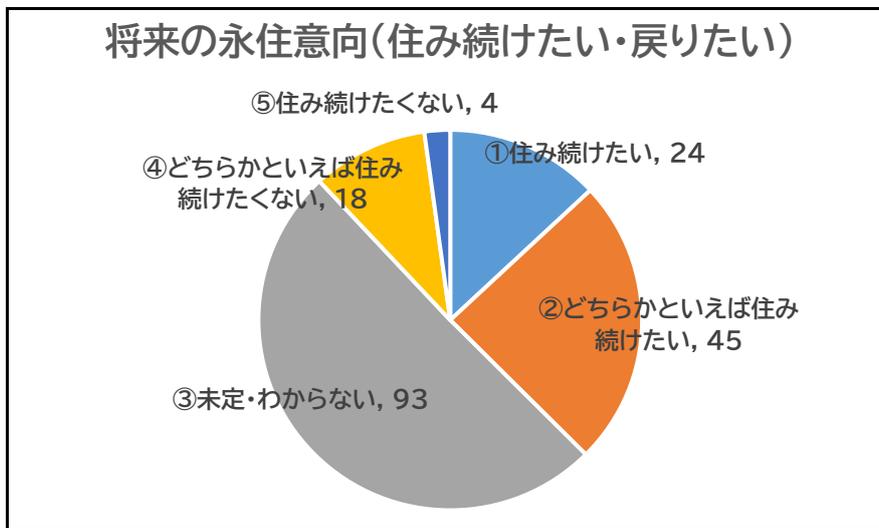


(2) 将来の永住意向

将来の永住意向（住み続けたい・大学等卒業後に戻りたい）をきいたところ、「未定・わからない」が93名（51%）と約半数を占めましたが、約4割は「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と回答しました。

「住み続けたい・戻りたい」理由としては、「住み慣れている」が多いほか、「実家・家族」という趣旨の回答が目立ちました。一方で、「都会志向」「海外志向」や「他の場所をみてみたい」「他の都市に住んでみたい」という意見が多くありました。また、「就職によって住む場所も決まるため、現時点では決められない」という回答が目立ちました。

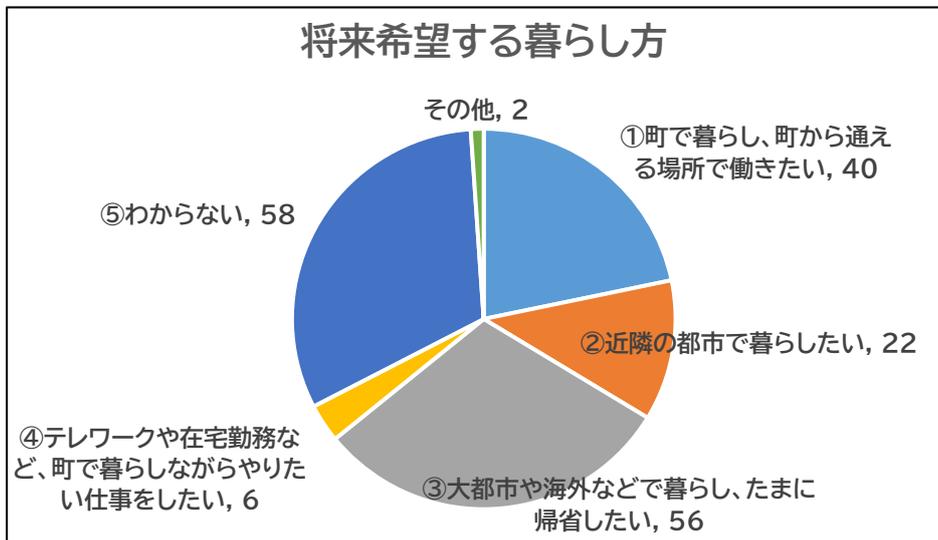
図表 10：問9 将来も邑楽町に住み続けたい(大学や専門学校を卒業後、戻ってきたい)と思いますか。



(3) 希望する暮らし方

将来希望する暮らし方は、「町で暮らしたい」「近隣の都市で暮らしたい」「在宅勤務など町で暮らしながらやりたい仕事をしたい」を合わせると1/3を超えますが、「大都市などで暮らし、たまに帰省したい」「わからない」も、それぞれ約1/3を占める結果となりました。

図表 11：問11 あなたが希望する暮らし方とはどのようなものですか。

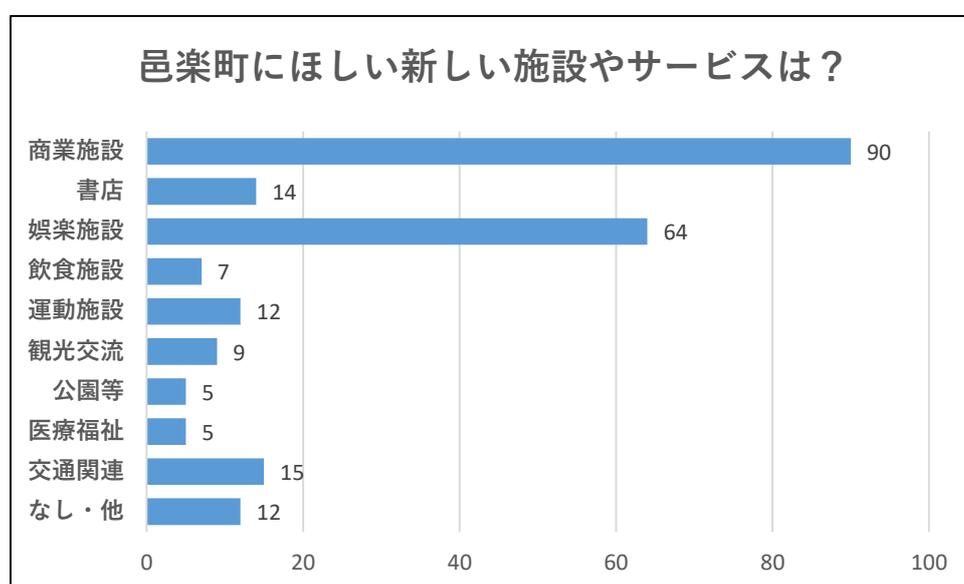


5.これからの邑楽町のまちづくりについて

(1)将来ほしい施設やサービス

将来、町にほしい施設やサービスは、商業施設（ショッピングモール、スーパーなど）が最も多く、「書店・本屋」という中学生らしい具体的な回答もみられました。また、娯楽施設（アミューズメント、ゲーム、映画館、カラオケ等）も多くの回答がありました。このほか、バスや鉄道駅など交通に関する要望もありました。

図表 12：問 12 未来の邑楽町に新しい施設やサービスができるとしたら、どんなものがほしいですか。



(2)まちづくりへの関心

将来のまちづくりへの関心については、「関心がある」は3割弱にとどまり、「関心がない」が7割を超えました。

「関心がある」人へ、具体的にどのように関わりたいかを尋ねたところ、「ボランティア活動」「イベント支援」「美化活動」が多く、「町への意見」「アンケート協力」などの回答もありました。

図表 13：問 14 あなたは、将来の「まちづくり」に関心がありますか。

